

土 地 区 画 整 理 会 計

1 概要

本会計は、土地区画整理法に基づいて施行する土地区画整理事業の執行状況を明らかにすることを目的に設置されたものである。

土地区画整理事業とは、健全な市街地の造成を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする、土地の区画形質の変更及び公共施設の新設又は変更に関する事業をいうものである。本市においては、北海道が昭和23年に東札幌地区で最初に着手し、札幌市施行の事業としては、昭和29年度から伏見地区において開始した。以来、土地区画整理組合等の事業も含め、施行済・施行中の区域は令和4年3月末までに121地区・6,419.6haに及び、市街化区域面積25,034haの約26%を占めている。

市施行の土地区画整理事業は、東雁来第2地区(210.8ha)の整備が平成29年度で完了し、篠路駅東口地区(5.1ha)について、令和2年度から事業に着手しており、令和12年度完了予定である。

2 決算状況

本会計の決算状況は、歳入は総額4億768万円、歳出は総額4億750万円で、歳入歳出差引きで生じている17万円は還付未済額である。

決算状況を前年度と比較すると、歳入は1億5,648万円・歳出は1億5,630万円増加している。

予算執行状況は、歳入では執行率81.0%(前年度69.2%)、収入率99.5%(同99.0%)、収入済額4億768万円であり、予算現額に対し9,531万円減少している。これは主として、事業の一部を次年度に繰越したことにより、事業充当財源の一部である国庫支出金及び繰入金が増減したことなどによるものである。

一方、歳出でも、執行率81.0%(同69.2%)、支出済額4億750万円であり、予算現額に対し9,549万円減少している。これは主として、事業の一部を次年度に繰り越したことや、契約差金などによるものである。

歳入及び歳出の決算状況は、次ページの表のとおりである。

歳入

(単位 千円)

科 目	予算現額	調定額	収入済額 A	不 納 欠 損額	収 入 未 済額	執行率	収入率	前年度 決算額 B	増減額 A - B
						%	%		
国庫支出金	30,000	13,188	13,188	0	0	44.0	100.0	30,000	△ 16,812
繰入金	469,414	390,605	390,605	0	0	83.2	100.0	199,777	190,828
清算金収入	3,486	5,673	3,808	0	2,036	109.3	67.1	21,288	△ 17,479
諸収入	100	78	78	0	0	78.2	100.0	133	△ 55
合 計	503,000	409,546	407,680	0	2,036	81.0	99.5	251,199	156,481

歳出

(単位 千円)

科 目	予算現額	支出済額 A	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度 決算額 B	増減額 A - B
					%		
区画整理費	333,000	267,557	49,671	15,771	80.3	86,497	181,060
	(330,000)	(265,817)	(49,671)	(14,511)	(80.6)	(84,479)	(181,337)
清算費	14,000	1,382	0	12,617	9.9	19,623	△ 18,240
職員費	156,000	138,569	0	17,430	88.8	145,078	△ 6,509
合 計	503,000	407,509	49,671	45,819	81.0	251,199	156,309

(注) () 内は区画整理費のうちの市施行分である。

(資料 106～109ページ参照)

区画整理事業の執行状況（市施行等）

(単位 千円)

支出科目	予算	負担金	国庫 支出金	繰入金	清算金	諸収入	歳入合計	歳出合計	繰越額	不用額
土地区画整理費	330,000	0	24,000	291,410	0	78	315,488	315,488	49,671	14,511
市 施行 篠路駅東口	330,000	0	24,000	291,410	0	78	315,488	315,488	49,671	14,511
そ の 他	173,000	0	0	138,054	3,630	6	141,691	141,691	0	31,308
合 計	503,000	0	24,000	429,464	3,630	84	457,180	457,180	49,671	45,819

(注) 「その他」の内訳 …… 組合土地区画整理費、清算費、職員費である。